

# 市報 やまぐち

2017

6/1

June

No.280

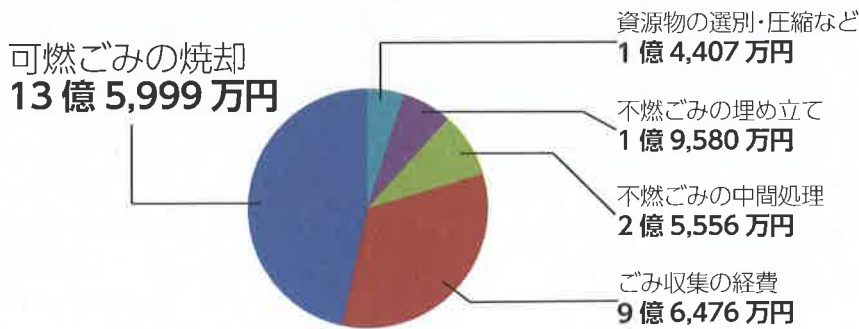
生	中
誕	原
110	中
年	也

特集 数字で考える環境問題 ②  
表紙 「田に託された風景」 ⑨  
移動市長室 「やまぐち車座トーク 21」 10  
地域おこしタイムズ ⑪





■本市のごみ処理にかかった費用の内訳(平成27年度)



6月は環境月間です。地球温暖化や循環型社会の構築など、自分たちには関係ないと思っていませんか。私たちの身の回りには、小さな取り組みでも環境問題の解決につながるものがたくさんあります。環境全般に関する取り組みを再認識するため、数字をキーワードに環境について考えてみましょう。

広報広聴課  
☎083-9341-2753

環境問題は我が家の家計の問題でもある

29億2千万円。これは平成27年度の本市におけるごみ処理にかかった費用です。平成27年度の一般会計における歳出が812億5千万円でしたので、およそ3.6%がごみ処理に充てられたこととなります。もしあなたの支出の3.6%がごみ処理に費やされているとしたら？節約した分をお小遣いに回せるとしたら多いでしょうか、それとも少ないでしょうか。環境問題は、決して人ごとではありません。

右の数字は本市のごみ処理にかかった費用です。多いと思いますか？少ないと思いますか？



29億2千万円



地道な啓発  
ごみの分別が徐々に浸透

ごみ処理にかかる費用を減らすには、私たち一人一人の意識が大切です。ごみの減量や分別の啓発に関するさまざまな活動をされている、やまぐちエコ倶楽部の豊田政子さんに話をうかがいました。

やまぐちエコ倶楽部は、リサイクル講座や、リユースを促進する資源整理の他、市民の皆さんに分別の理解を深めていただくため、面白い活動をされていますね。

「各地域で行われるお祭りなどに行って、ごみの分別クイズをしています。あらかじめごみ袋にペットボトルや雑紙などさまざまな種類のごみを入れておき、分別用のカゴに分けていただくというものです。全て分別すると、最後には汚れたティッシュやレシートしか残らなくなりません。ごみとして出された物の中には意外とリサイクルできる物があると

実感して頂くのが狙いです」と話す豊田さん。20代の若い既婚者や子どもさんが積極的に参加されているそうで、「特に小学4、5年生は、学校で環境学習をされており、分別に対する意識がすごく高いと感じます」。年に1度、資源ごみのストックヤードで市の職員と一緒に分別チェックもされているそうですね。

「以前はティッシュペーパーの箱に付いているビニールも一緒に雑紙として出されていたのですが、最近はほとんど剥がされています」と、分別の啓発活動の成果を肌で感じてもらいました。



豊田政子さん  
やまぐちエコ倶楽部副代表

ごみの減量やリサイクルの促進を目的に、市民の皆さんに啓発活動をされている。分別クイズは2年間で約1200人が参加された。



上 分別クイズは、スタッフが丁寧に説明し理解を深め、参加者にはハーブなどの苗をプレゼントしている。  
左 ペットボトルと判断しづらい物もあるので、判断の基準になるラベルは剥がさず排出して欲しい。



毎日43台のごみ収集車が市内のごみを収集して回っています。あるときは、ごみ袋に入っていたガスボンベが原因で車両が出火、またあるときは生きた蛇が入っていて危うく怪我をしそうになるなど、常に危険と隣り合わせです。そんな現場の職員が、ごみの減量の大切さや分別・リサイクルの理解を深めてもらおうと、小学校の4年生を対象にした出前講座を行っています。

4月27日、山口大学附属山口小学校では、社会科の授業に合わせ、市の職員5人が出向き環境学習を行っていました。仕事の内容や分別の必要性の説明に始まり、分別の判断が

分別が分かる人になってー  
現場職員が熱のこもった授業

難しい品目をグループで話し合っただけの意見にまとめて発表してもらうなど、工夫を凝らした熱い授業が行われ、児童は終始楽しんで学習していました。

授業を受けた児童の1人は「ごみ収集車の中が見られたし、ごみの分別の種類とかを知ることができて楽しかった。もっと環境を良くするためにごみを分別したい」と話していました。講師を勤めた職員は「普段意識しないとなかなかごみを分別できない。実物を用いて親しみや興味をもってもらうための足がかりになれば」と話していました。

☎ 清掃事務所 ☎ 083-927-1770



793L

右の数字は本市の2人以上の世帯が1年間に使ったガソリンの量です。多いと思いますか？少ないと思いますか？



総務省の家計調査(品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング)によると、本市の2人以上の世帯が1年間に使用するガソリンの量は793Lで、1位でした。これを1年間に排出する二酸化炭素に換算すると、約1840kg排出する計算になります(※1)。これだけの二酸化炭素を杉が吸収するには130本必要で(※2)、私たちが環境へ与える代償は少なくありません。だからといって、私たちの生活には自動車での



ガソリン排出係数  
2.32kg×793L=1,840kg



数字は、1人が1km移動する時の二酸化炭素排出量(環境省:スマートムーブホームページ出典)



エゴにならないように心理に学ぶ環境への配慮

「公共交通を使えば、見られているという意識が働き、身だしなみを気にするようになります。これは町の景観形成にも関係します」。そう話すのは、大学で人とまちの心理的關係について研究されている鈴木先生です。

「同じ町並みで同じ学生がジャー지를着た写真と写真と私服を着た写真を見比べてもらう調査をしたところ、ジャージを着た学生がいる方はダサくて不潔で嫌いという印象をもつ人が多かったんです。これは、身だしなみに気にしない人が多いと、不潔な景観になってしまう恐れがあります」。

東京や、福岡で言えば天神や大名など公共交通の利用が多いところでは、町を歩く人々の身だしなみがオシャレであるだけではなく標識などが繊細になると言います。

また、大学内で行っているカーシェアリングのモニター調査から、私たちが気をつけるべきことが分かってきました。

鈴木春菜さん  
山口大学大学院創成科学研究科准教授

土木・交通施設の計画や運用を専門とし、本市の公共交通の利用を促すモビリティ・マネジメント事業に携わっている。



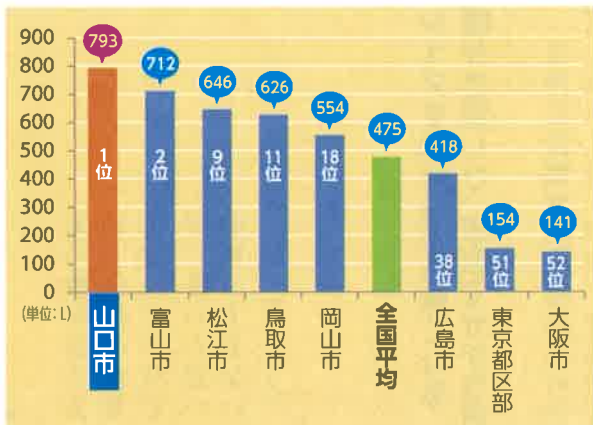
「車を持っている人は維持費を一度にたくさん支払わなければならないため、乗っておかなければ元が取れないという感覚があり、乗る回数が増えがちです。カーシェアリングを利用する人は、利用したらその都度お金を払わなければならないかもしれません。そこに、無駄な利用を控えようという心理が働き、移動手段を徒歩や自転車に切り替えているようです。燃費の良いエコカーに乗り換えたからといって、走行距離が増えないようにして欲しいです」と話されています。

エコと思ってしたことが自分のエゴにならないよう気をつけたいですね。



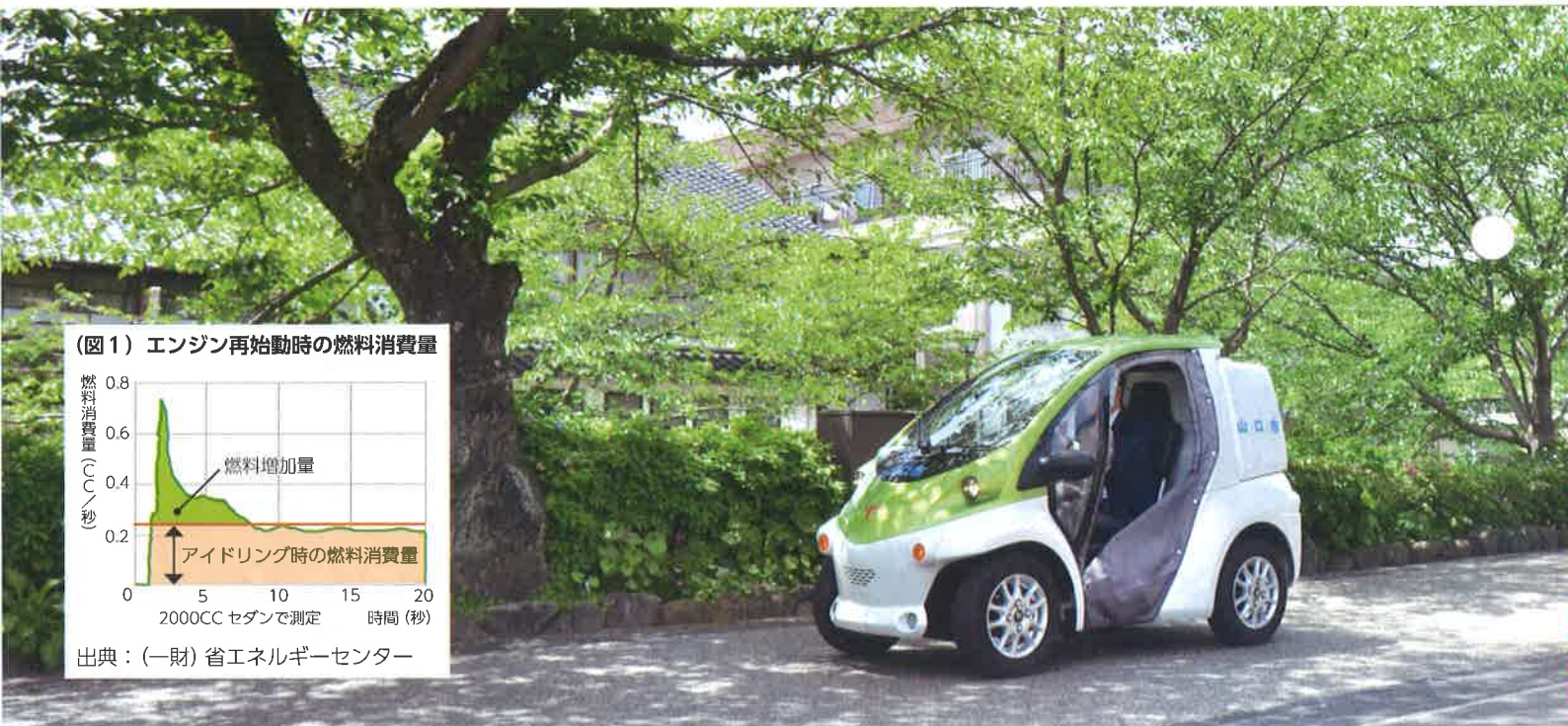
▶年間ガソリン購入数量

出典：家計調査（2人以上の世帯）品目別都道府県庁所在地市及び政令指定都市ラッキンブ（平成26年～28年平均）（総務省）に基づき作成

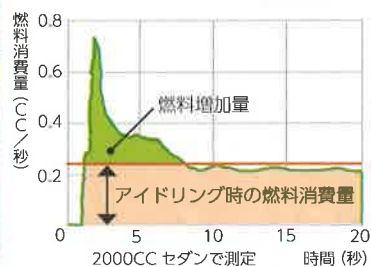


移動は不可欠。ではどうしたらよ  
いでしょうか。  
国や自治体では「スマートムー  
ブ」という、日々の移動をエコに  
する新たなライフスタイルを提  
案しています。自然環境に負荷  
をかけずに自動車とうまくつき  
あっていく方法について、専門家  
に話をうかがいました。

※1：ガソリン1Lが排出する二酸化炭素を  
2.32kgとして計算（出典：環境省「温室  
効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」）  
※2：樹齢80年の杉が1年間に吸収する二  
酸化炭素を14kgとして計算（林野庁出典）



(図1) エンジン再始動時の燃料消費量



出典：(一財) 省エネルギーセンター

「急」をやめることが  
「エコ」につながる

JAFではエコドライブ  
講習を行われているそうで  
すが、二酸化炭素をなるべ  
く排出しない運転の仕方な  
ついて教えてください。

「燃費を良くするために  
は、急発進や急加速など、  
急が付くことはなるべくし  
ないことが重要です。二酸  
化炭素の排出を防げるだけ  
でなく、燃費の向上につな  
がります。また、車が故障  
したときの出勤で一番多い  
のがバーストやパンクです。  
空気が適正でなければ燃  
費が悪いだけではなく事故  
にもつながるので、運転前  
に確認して欲しいですね」。

最近では無駄なアイドリ  
ングを自動的に止める機能  
のある車が増えてきます。  
そういった機能のない車も  
信号機ではエンジンを止め

た方がよいのでしょうか。

「アイドリングストップの  
機能がない車が信号待ちで  
エンジン止め、もしエン  
ジンがかからなかった場合、  
後続の渋滞を巻き起こす恐  
れがあります。これでは意  
味がありません。そもそも  
(車種にもよりますが) エン  
ジンをかけるときは、5秒  
間アイドリングするので同  
じくらいの燃料を使います  
(図1)。路上では不用意に  
エンジンを切らない方が安  
全面や環境面で良いと思っ  
ます」と、時と場合によっ  
て判断が必要だと話されま  
した。

「エコドライブを気にして  
走っていると、交通安全に  
もつながるし、低速で走ろ  
うとすると周りの状況を見  
て運転できるので予測運転  
につながり安全です。ぜひ  
エコドライブを心がけて欲  
しいですね」。



宮崎秀広さん

JAF（日本自動車連盟）  
山口支部推進課

JAFでは自動車に乗る  
方々が楽しく安全に車社  
会を送ることができる手  
助けとして、交通安全の  
啓発や、エコドライブ講  
習を行っている。また、  
車の故障があればいち早  
くかけつけて交通渋滞の  
緩和にも努められている。

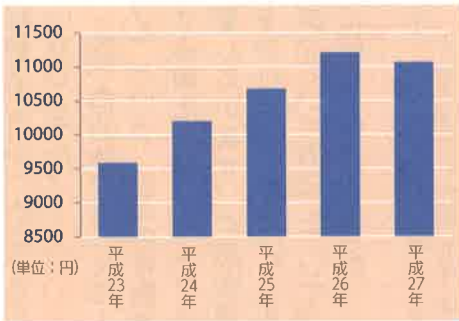
1万1千円

右の数字は2人以上世帯の電気代1カ月平均です。多いと思いますか？少ないと思いますか？



シェアすれば負担も軽くなる  
暖かさ涼しさ、家族で分かち合う

2月に公開された映画「サバイバルファミリー」は、突然電気がなくなった世界で、主人公たちが工夫しながら協力して生き抜く家族の姿を映し出していました。私



▲ 2人以上世帯の電気代全国平均

出典：都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たり1カ月間の収入と支出（総務省統計局）に基づき作成

たちが生活する上で、電気は欠かすことができませんが、上手に利用することで、お財布にも環境にも優しい生活ができます。電気代を見直したことで、ライフスタイルが変わったという方に話をうかがいました。

市内で妻と3人の子とも暮らすAさん。家族みんなが揃う夕方19時頃からの電気の使用が多いそうです。それぞれの部屋で冬は暖房、夏は冷房を使い、電気料金は1カ月に2万円を超えることも多かったそうです。ある日、職場で電気料金の話になり、家庭での電気の使い方が変わります。

「職場の同僚の1月の電気料金に比べて我が家の電気料金があまりにも高いことが分かり驚きました。考え

てみたら一つ屋根の下にいるのに家族バラバラで過ごしていたので、そりゃあ高くなるはずだと思いました」。

そんなとき、外出していながら電気の使用量がスマートフォンで分かるサービスを知ります。さっそく登録して、家族には内緒で計測してみたところ、電気使用量が突出して多かった時間帯がわかりました。翌日、Aさんは家族会議を開きました。

「電気料金のプランの見直しと合わせ、できるだけ家族が一つの部屋に集まって過ごすようにしました。これは効果が大きかったですね。翌月の電気料金を見たら半額以下になっていました。電気の使用量は減ったけど、家族の会話は増えましたよ（笑）」。

梅雨が明けたら夏本番。扇風機や冷房の使用で電気の使用は増えがちですが、家族で集まって過ごすなど、ちょっとした工夫で電気の使用は抑えられます。皆さんも過ごし方を考えてみませんか。

年月	電気料金
2017.01	24,565円
ご使用量 (kWh)	898
備考	
2016.12	22,910円
ご使用量 (kWh)	843
備考	
2016.11	17,888円
ご使用量 (kWh)	670

年月	電気料金
2017.04	11,435円
ご使用量 (kWh)	472
ご使用量内訳 (kWh)	
その他季	135
デイ	
夏季	0
ナイト	180
ホリデー	157
備考	
2017.03	12,250円
ご使用量 (kWh)	528
ご使用量内訳 (kWh)	
その他季	135
デイ	
夏季	0
ナイト	206
ホリデー	187
備考	



左中Aさんのスマートフォンの画面。2月からなるべく同じ部屋で過ごすなど電気の使い方を工夫された結果、3月から電気料金が減った。右30分単位で電気の使用量が分かる。電気の使い方を見直す際に役立っているという。





クールシェアスポットのTAMARUショールーム



**横岡摂樹さん**

株式会社 TAMARU 代表取締役

板金、整備、点検、販売と一つの拠点で全てを賅えるトータルカーショップ（大内御堀）。

「地域貢献の一つと思うー」  
環境保護のためにクールシェア

暑い夏。不要な電気を消して、避暑地や、図書館などの公共施設に出かけませんか。本市では、涼しい場所にみんなが集まってゆったり過ごす「クールシェア」を広めています。お店をクールシェアスポットとして提供している株式会社TAMARUの横岡摂樹さんに話をうかがいました。

二酸化炭素を排出する自動車を取り扱うこともあって、環境には人一倍気を使ってもらえるそうですね。

「私たち自動車産業の人間は、大気汚染に直接かわるところが大きいので、点検や調整で排気ガスを少しでも綺麗にできないかと思っていました。そこで、6年くらい前から自分たちでコンパクトEV車（エンジンをモーターに寄せ替えた車）を作り、自分たちなりに二酸化炭素の排出をできるだけゼロに近づけるよ

うにしてみました」と話す横岡さん。「地域の役に立つことでしか車業界を生き残れない」と、東日本大震災で車が足りないのと聞くと車を贈呈したり、毎月2回、工場の周りを清掃したりするなど、地域の環境美化にも貢献されています。

「クールシェアスポットの提供は、環境のために是が非でもという訳ではないですが、地域のお役に立ちたいという思いで登録しています。冷房をキンキンに効かせてはいませんが、二酸化炭素の削減のために気軽に立ち寄って欲しいです」と話されています。

クールシェアスポットを利用して一人一人の電気使用量が減れば、より多くの二酸化炭素の削減につながります。賢く過ごして、環境に負荷をかけない生活をしてみませんか。



左 シェアマップで近くのクールシェアスポットやスポット独自のサービスも知ることができる。[シェアマップ] で検索。

右 TAMARUの自動車整備工場の棟続きには、カフェや洋服屋があるなど、事務所もシェアされている。



環境政策課  
副主幹 山村秀明

「持続可能な○○」を見つけて欲しいと思います。

環境政策課  
083-941-2180

最近よく耳にする「持続可能」という言葉。自然環境と開発を共存させつつ、環境保全を考える概念として1980年代から国際的に使われ始めたそうです。今回は、数字で考えるという切り口で、身の回りの環境問題について考えてみました。一人一人が小さくてもいいので、普段の仕事や生活の中で、自分にできることを考え、少しずつでも実行することが大切だと思います。6月は環境月間、環境について自分でできる「持続可能な○○」を見つけて欲しいと思います。



持続可能な  
「Eco」を  
考える